

北海道中札内高等養護学校幕別分校 校長室より

令和6年度前期が終了

幕別分校は、9月27日に前期の終業式が行われました。終業式の校長式辞の中では、6か月間を振り返りました。

1年生は初めて尽くしだった6か月間。2年生は、2年目だから味わう苦勞の6か月間。3年生は、最高学年としてのプレッシャーや卒業が見える不安。それぞれの学年が感じた思いを振り返ってもらいました。

また、現場実習を終えた今だからこそ、という思いで、自分の目指す自分になるために、という話をしました。毎日何を積み重ねていくか?ということです



必ず成長していることを
忘れずに

- ① 4月からの自分とどうちがう?
- ② 今の自分のよさはどこ?
- ③ 後期に向けてもっと高めたいことは?

後期に向けてどうぞです?

- 体調管理**
ができる自分になりたい人
- コミュニケーション**
がもっととれるようになりたい人
- 集中力**
をもっとつけたい人

現場実習の経験は、「〇〇な自分になりたい」という思いも育ててくれた経験だったと思っています。自分がどんな自分になるか?は、毎日何を心掛けて生活するか?の積み重ねだと思えます。まずは後期を迎えるこの時期をどんな自分になろうとするか?について考える機会にしてほしいと思っています。

大切なのは、①一人一人が確実に成長したことと、②成長の内容は一人ずつ違うこと、それを知ってほしいと思いました。

さらに生徒たちには、「4月の自分と今の自分の違いについて、誰かと語り合ってほしい」とお願いしました。どの生徒も大きく成長した6か月。その成長の確認と、後期の目標の設定を行う10月スタートにしていだければうれしいです。10月2日は始業式。またみんなで元気にスタートしよう!



連絡事項も様々な方法で理解を深める

朝のホームルームでの一コマ。

先生が、生徒に学級の classroom を開くように・・と指示しました。今日先生が連絡しようとした内容が classroom にも記載されていました。先生の話で理解しようとする生徒たちは連絡事項を伝えながら、生徒はその内容に耳を傾けたり、手元のタブレットで内容を確認したりしていました。学習だけではなく、ホームルームでの一コマでもデジタル機器を活用して自分の分かる学び方を習得している幕別分校の生徒たちです。

